

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授 教授 教授 教授	浅川 拓克 石毛 清八 高屋喜久子 安部 信行	敷地内救急車導線と横断歩道の現状と改善	八戸市立院 市民病院
教授	田中 義幸	Holistic Genomic Approach to Asia-Pacific Marine Biodiversity	東北大学
教授	迫井 裕樹	凍結融解抵抗性を向上させたプレキャストコンクリートに使用される吸水性樹脂の作用機構の解明	ピーエス・コンストラクション(株) (株)日本触媒
教授	鈴木 拓也	八戸市地盤沈下観測井観測記録解析業務委託	八戸市
教授	鈴木 拓也	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八戸市
任期付 研究員	赤松 笙太	R 7青森県量子科学センターの装置による量子ビームを活用した人材育成に係る補助業務	青森県

② 研究助成

令和7年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	桐原 慎二	ブルーカーボン等を活用した八戸地域のコンブ養殖復活の試み	むつ小川原地域・産業振興財団
教授	高瀬 慎介	寒冷地橋梁の劣化損傷実態調査と修繕対策の検討	青森県建設技術センター
講師	外里 健太	降雨に伴う高速道路の斜面災害のリアルタイム予測に関する研究	東日本高速道路(株)
教授	柴田 幸司	2025年度 スマート農業の発展や土砂災害の防止に寄与する土壌や農作物の水分の精密計測システムの開発 補助事業	公益財団法人 JKA補助事業
教授	藤岡 与周	農林水産業教育向けプログラミング・ロボット事業に係わるプログラム検証機械	(株)トイ (中小企業等事業再構築促進補助金)

5 学内助成

令和7年度

① 特別研究支援（研究センター）

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
教授	船崎 健一	八戸工業大学における航空宇宙関連研究の拠点形成	100 千円
教授	伊藤 智也	地域スポーツのデジタルトランスフォーメーション(DX)推進	300 千円
教授	小林 正樹	特殊化学反応場によるカーボンリサイクル技術の創製と展開	200 千円

② 特別研究助成費（プロジェクト研究）

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
教授	伊藤 智也	地域スポーツ DX 推進に向けたスポーツデータサイエンス教育コンテンツの設計と実践的評価	2,240 千円
教授	浅川 拓克	地域の救急医療を支えるドクターカー等の事故を防止するための、ユニバーサルデザインの視点におけるドクターカーの塗色、警光灯等に関する研究	600 千円

③ 特別研究助成費（特定研究・挑戦的研究）

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
教授	杉本 振一郎	高精度誘導加熱シミュレーションのための電磁界-熱伝導双方向連成解析システムの研究	350 千円
教授	嶋脇 秀隆	GOS 型電子源の電子放出機構に関する研究	350 千円
教授	小久保 温	大規模言語モデルを用いた特殊詐欺体験シミュレーターの開発	350 千円
教授	安部 信行	視覚障害者の雪道歩行の課題と解決策に関する研究	350 千円
講師	宇野 あずさ	地域素材の特性調査と CMF デザイン応用に関する実践的研究	300 千円
教授	高瀬 慎介	K-refinement 法を用いた Isogeometric Analysis 手法の構築	200 千円
教授	鮎川 恵理	コケ植物と珪藻土を利用した屋上緑化技術の確立と遮熱効果の評価	400 千円
講師	吉浦 温雅	通気層を有す二重屋根構造の熱的性能評価を実施する屋外試験装置の開発	391 千円
助教	熊谷 駿	数学を基盤とする形状取扱技術とその教育アプローチの研究	400 千円

④ 特別研究助成費（しまもり SDGs 実践プロジェクト）

職名	研究代表者	研究装置名	助成金額
教授	星野 保	島守地区で生産した飯米を原料とした日本酒製造	1,000 千円
教授	星野 保	島守地区の食文化、特に発酵食品に関する調査	540 千円
教授	高瀬 慎介	見てさわって学ぶしまもり食育 SDGs プロジェクト	900 千円
教授	黒坂 貴裕	島守の建築文化・資源を活かした SDGs の実践	738 千円

⑤ 大型装置・設備保守費

職名	使用責任者	研究課題名	助成金額
教授	迫井 裕樹	寒冷地建設材料の耐久性試験研究装置	1,100 千円
教授	迫井 裕樹	寒冷地コンクリート材料の高耐久化に関する研究装置	1,100 千円
教授	迫井 裕樹	寒冷地建設材料の複合環境劣化装置	1,100 千円
教授	鈴木 拓也	環境ホルモン分析装置 保守点検	1,100 千円
教授	竹内 貴弘	寒冷地施設の機能向上に関する研究装置	1,100 千円
教授	小林 正樹	マイクロ波照射極限化学反応プロセスの流動発生解析装置	1,100 千円

⑥ 教育改革支援経費助成

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
教授	岩見 一郎	本学工学研究科における高年次英語教育を支える指導実践と成果検証：ESP と民俗学の知見を援用して	560 千円

⑦ 戦略的社会連携推進費

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教授	迫井 裕樹	JAMSTEC 不動テトラ	「深海環境がセメント硬化体の特性に及ぼす影響」 内容： 深海開発において、有用な建設材料の一つとして、地上および浅海域での実績の多いセメント系材料の利用が期待されているが、深海という特殊環境がセメント系材料の力学的特性・耐久性に及ぼす影響については未知な部分が多いのが現状である。2018年度より、JAMSTEC、不動テトラと共同して進めており、実環境に暴露されたセメント硬化体の化学的変化、力学的特性変化について分析・検討を行うものである。	1,900 千円
教授	石山 武	八戸工業大学 第一高等学校	「能動的教育を強化した接合型高大連携の取り組み」 内容： 高校3年生を対象に研究テーマを設定し、大学教員・高校教員が連携しながら指導するとともに、学部4年、大学院生も「課題研究」指導を実施。 研究テーマごとにデータ整理や理解した成果をまとめ、高校生のキャリア形成の一助となることを目指す。	88 千円

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
主事	佐藤 南	八戸工業大学 第二高等学校	「令和7年度八戸工業大学第二高等学校 HIT - SSP(サマーサイエンスプログラム)実施」 内容： 進路選択を見据えた高校生に大学での学びを体験してもらう目的で実施を予定している。生徒が進路を考える上で、選択肢を広げるきっかけとなることを期待するとともに、本学の教育研究活動を周知するものである。令和7年度は8月4日～5日の2日間にわたり開催。7部局の各テーマに分かれ、高校生が各自の興味のある分野を選択し、講義や実習を体験参加した。	80 千円
主査	本間 貴士	青森県立 八戸工業 高等学校	「令和7年度八戸工業高等学校 ミニオープンキャンパス実施」 内容： 八戸工業高等学校との連携協定により、1年生の希望者を対象にミニオープンキャンパスを開催し、生徒が進路を考える上で、大学進学という選択肢を広げるきっかけとなることを期待するとともに、本学の教育研究活動を周知するものである。学内見学、体験授業・実験、学食体験等を実施。	55 千円
講師	宇野あずさ	さくら幼稚園	「さくら幼稚園×八戸工業大学 見てさわって感じるアート&サイエンス事業」 内容： 「見てさわって感じるアート&サイエンス事業」は、実験や科学工作などの体験を通じて子どもが科学への関心や好奇心を持つ機会を創出する事業である。令和7年度は幼稚園・工業大学の連携強化及び学外への情報発信等の活動を実施。 ①SDGsに基づく大学×幼稚園による共創活動 ②アート&サイエンスによる園児向けのイベント企画・教材の提案 ③地域・学外連携を強化した公開活動	623 千円
教授	折田 久幸	C N C E R (HOPに加盟 する研究会)	「CNCER (Carbon Neutral Circular Economy Rally)」 内容： 2017年より続けてきたIoTを使った温暖化対策を目的に活動してきたHIoTと、2024年に立ち上がったHIT CN人材育成協議会の下部組織である小中高一般向けWGとを合体し、2025年度よりCNCERとして活動を開始。出張講義、セミナー開催、学科発表等実施。	127 千円

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教授	星野 保	SDGs 研究会 (HOPに加盟する研究会)	「SDGs 研究会 令和7年度活動」 内容： 東北地区を中心に SDGs 関連の取り組みを分析し、本学プロジェクトの推進を支援し、助言を与える目的として活動。また、企業・行政・メディアの意向を確認し、研究者との窓口を目指して活動している。令和7年度は、郷土食調査実施、岩手ネットワークシステムが開催する SDGs 研究会 in 北上にて講演、しまもり SDGs 実践プロジェクトと連携した日本酒造り体験・味噌玉製造実習等を実施。	326 千円
教授	小玉 成人	情報教育研究会 (HOPに加盟する研究会)	「情報教育研究会 令和7年度活動」 内容： 小中高教育機関の先生方との連携によりプログラミング及び情報教育に関する知見共有の仕組みを構築し、地域の IT 教育の底上げと横展開の拡大を目標として活動を実施。 また、全国の中学・高校向けのプログラミング・オンライン講座などを企画し、八戸から情報発信することで青森県のデジタル度のイメージ向上にも取り組む。 1.AI 活用の試行 2.小学生のための教材開発（メディアとの付き合い方、英語）	379 千円
教授	阿波 稔	青い森の橋ネットワーク (HOPに加盟する研究会)	「令和7年度 青い森の橋ネットワーク勉強会」 内容： 青森県内の橋梁の長寿命化について関心を持つ学識経験者及び技術者が、橋梁に関わる知識を深め、学術的知見の提供や技術の普及、承継と人材育成を通じて地域社会の持続可能な発展に貢献することを目的とし研修会や勉強会を開催。 ①南信州メンテナンス技術研鑽のための勉強会 ②東北 MUCC 生コン技術会青森支部の技術研修会 ③令和7年度 橋梁補修設計研修プログラム ④青森県土木施工管理技士会上北支部の講習会	100 千円

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教授	桐原 慎二	青森ブルーカーボン研究集会 (HOPに加盟する研究会)	「青森ブルーカーボン研究集会 (ABC-RM)」 内容： 海藻草によって海洋中に固定される炭素であるブルーカーボンは、気中の二酸化炭素の吸収源として注目されているほか、ブルーカーボン・クレジットの取引を通じた漁業振興や環境保全への活用が期待されている。現地調査の実施や講演会開催、専門家との意見交換などを通じてブルーカーボン・クレジットを活用した地域貢献策を検討し提案。	63 千円
教授	金子 賢治	HOP 防災道の駅研究会 (HOPに加盟する研究会)	「HOP 防災道の駅研究会」 内容： 東日本大震災からの復興の中で三陸自動車道が全線開通し、八戸南インターに近接した八戸工業大学の立地は、広域的な防災拠点・物流拠点・観光拠点として非常に良好であることから、この場所に防災道の駅を設置するアイデアが生まれている。本研究会では、これの実現に向けて、「防災道の駅」に関連する種々の事項について調査研究、意見交換等を実施した。	72 千円
教授	高瀬 慎介	(株)田名部組	「八戸工業大学×株式会社田名部組 産学連携事業 はちのへ「まち」プロジェクト」 内容： 産学連携事業「八戸工業大学 番町サテライトキャンパス」における、本学の公開講座やセミナーを開催のほか、中心街における学生の活動、市民の交流の拠点とするべく運営。令和6年度は、公開講座やセミナー、フォーラム、学会、卒業展示等を開催するほか、各種イベントや地域への貸し出しを行い、八戸市中心市街地活性化に取り組んだ。館長就任に伴い活動面・集客面ともに活性化が図られた。	1,747 千円